

会 議 記 録

作成部局課名 塩田地域自治センター

開催日	平成 20 年 12 月 26 日(金)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	塩田地域協議会(平成 20 年度第 10 回)		
出席者	委員 18 名(欠席者 2 名)		
事務局 出席者	出席職員 神林センター長 古川センター長補佐兼庶務企画係長 大沢政策企画局長、関まちづくり協働課長、細川塩田公民館長		

会議次第

- 1 開会 (塩田地域自治センター長)
- 2 会長あいさつ (大口会長)

概 略 年末の忙しい中での出席に対する御礼。協議会は、2 期目の委員会で実質 12 回開催した。内容は、地元議員との懇談会を実施するなど特出していると思う。とりわけ自治センターの整備にあたり、熱心な議論を踏まえ意見書を提出した。今日は、政策企画局長も来ていただいているので、要望を取り入れていただき、忌憚のない意見交換をお願いしたい。

理事者あいさつ(大沢政策企画局長)

概 略 景気の低迷に伴い市では、緊急経済・雇用・生活対策本部を設置した。今月 27 日から 30 日まで対応窓口を設置する。特に本市では、外国人労働者が多くその対策が急務とされている。地域での活動にあっては、塩田の取り組みを参考にするようと言われている。自治センター整備に関し意見書が出されたが、市長も自治センター整備を重要と捉えている。今後、詳細部分に関し詰めていくことになるのでよろしくをお願いしたい。

3 協議事項

- (1) 塩田地域自治センター整備事業について(担当課：塩田地域自治センター)

説明要旨

意見書回答

・ 敷地北側居住者への配慮について

敷地北側居住者の皆様へは、地域関係者とは別に説明会を開催し、日照に関する事柄については別途個別に説明した。日照による影響を最小限度に抑えるための建物配置や環境保全のための植栽に可能な限り配慮する。

・ 施設利用にあたり、利用者の安心や安全の確保

新施設は、地域内分権を推進するための中心的な施設であり、幅広い年代層の方の利用が予想される。施設管理にあたり、防犯カメラの設置など利用者の安心や安全に最大限配慮したい。

・ イベント広場の活用など

新施設は、地域内分権を推進するための中心的な施設であり、地域振興やまちづくりなど地域住民の主体的な活動を保障するものである。また、以前の陳情に基づきイベント広場を整備することとしておりイベント広場は、地域の夏祭りや文化祭、各種イベントなど地域住民に幅広く活用されることを願っており、地域の皆様で考えていただきたい。

口頭要望回答

- ・ **イベント広場は、手入れが容易で柔らかい感じのもの（野芝）を希望する。**
イベント広場の仕様については、維持管理が容易なものがよいと認識しており、野芝も含め今後検討協議したい。
- ・ **建物の北側は、容易に往来ができるようにしていただきたい。**
建物の周囲には、施設や関連機器の維持管理のため、犬走りのようなものの設置を検討したい。
- ・ **植栽にあっては、手入れが容易な低木を中心にお願いしたい。**
植栽においては、景観に配慮し地域に自生するような種類で、手入れが容易なものを検討したい。
- ・ **施設の誘導看板にあっては、景観に配慮して統一された物を希望する。**
新施設は地域自治センター、公民館、母子健康センターなどの機能を有することから、景観に配慮したわかり易い看板の設置について検討したい。
- ・ **建物外壁の色は、今後協議することとし塩田中学校とのバランスを考慮して欲しい。**
建物外壁の色については、景観に配慮することと塩田中学校の校舎外壁の色とのバランスを考慮し、協議会の場で協議していきたい。
- ・ **地域自治センター内に、まちづくりコンセプト（題字は半田座主に依頼予定）を表示したい。**
新施設は、地域内分権を推進し住民主体のまちづくり活動拠点となるものと期待しており、地域の皆様の総意として行っていただくことも必要である。
- ・ **地域自治センターに愛称を付けたい。**
新施設は、地域内分権を推進し住民主体のまちづくり活動拠点となるものと期待しており、可能な限り要望に答えていきたいが、地域として主体的に動いていただくことも必要である。
- ・ **塩田母子健康センター（第2駐車場）から、施設への最短出入口の設置を希望する。**
横断歩道からの最短出入口の設置については、利用者の利便性への配慮とともに、歩行者の安全確保の観点も含め、外構工事の中で計画していきたい。
- ・ **喫煙場所の設置を希望する。**
市では、公共施設での喫煙場所は原則屋外と定めており、建物出入口付近の屋外に設置を検討している。
- ・ **消防団第14分団詰所の位置について、再考していただきたい。**
14分団詰所の建設場所については、緊急時の出勤条件や安全性の確保を図ることから、現在地の西側に建設することとしている。

主な質疑

- ・ 第2駐車場からの出入口確保については、配慮してもらっていると思うが交差点の改良や駐車場についてはどのようになるのか。
- ・ 意見と要望の違いはどうか。（意見書は狭く、要望の方が広く聞こえる）
- ・ 協議会では、型式として意見書としている。（自治センター条例に準じている）
- ・ 市は、重みとして意見書と考えている。
- ・ 今後まだ要望を出せるか。

- ・ 建物については難しいが、外構については今後となる。
- ・ 旧村時代の文書がたくさんあり、きちんとした文書庫が欲しい。
- ・ 施設の清掃などはどのようになるか。
- ・ 清掃については、委員発言のボランティア的な考えも必要で、地域住民が関われば良いと思う。ぜひそうなってもらいたい。
- ・ 公民館の利用者団体は、年2回大清掃をしてくれているので、プラス すれば良いと思う。
- ・ 公民館設備は、公民館で検討してもらっているので、それに沿ってもらえば・よい。
- ・ 公民館を示すわかり易い看板を設置して欲しい。
- ・ 仮設事務所はどこへ作るのか。
- ・ 新年度早期の施工をお願いします。

回答

- ・ 交差点の改良については、道路改良の中で検討することとなっている。母子健康センターは、取り壊し駐車場とする予定である。
- ・ 分団詰所は、市道小島手塚線へ直接出られる方がよいとしている。仮設なしの計画で、現詰所の西側へ建設を予定している。
- ・ 意見、要望については、自治センター条例中意見書の規定があり、それに則っている。
- ・ 旧村時代の文書の保管は、会議室を文書庫にあてる予定である。
- ・ 自治センターや公民館の清掃は、週2回シルバー人材センターから各1人来てもらっている。
- ・ 意見書や要望書などいろいろな意味があると思うが市は、いずれも住民の意見として重く受け止めている。(条例上は「意見書」)
- ・ ステージには、バトン前後2本を予定しており、他にはスポットライトなど検討中である。
- ・ 商議所支所の専用相談室設置について、協議中であり多少変更も有りうる。
- ・ 看板については、景観に配慮したわかり易いものとして今後協議していきたい。
- ・ 建設にあたっては、仮事務所を必要とせず建設、取り壊し、建設という流れで考えている。工事期間中は、多少駐車場が不足すると思うが協力をお願いしたい。

(2) 学校支援地域本部事業について(担当課：塩田公民館)

説明要旨

- ・ 学校支援地域本部事業は、地域住民(ボランティア)が学校へ行き生徒と交流する事業である。
- ・ 環境整備ボランティア(小山先生担当)は、学校の緑化に関わる中で地域が学校を支えている姿を見せたい。

主な質疑

- ・ 学校では、1日でも早く立ち上げたいとしている。
- ・ 学校では、環境整備ボランティアに加入してもらい、とりあえず植栽を中心に活動してもらいたいとしている。
- ・ 学習支援では、教員免許を有する方を最低30人確保したいとしている。
- ・ できる限り協力したい。
- ・ 現段階では意見はない。
- ・ 学習支援では、教員免許が必要であるが心に関わることも重要である。
- ・ 問題行動の原因が、小学校に起因することが多いと言われているので、運営委員会委員に小学校の先生に入ってもらいたいと思う。
- ・ 社会生活が普通に行える子どもでなくてはならないので、地域の大人の背中を見て育つことが重要である。
- ・ 協力にあたっては、無償ボランティアはなじまないもので、有償ボランティアとすべきであり、予算措置できないものか。
- ・ 子どもにとって小学校時代のことは重要なことなので、小学校の先生に入ってもらおうよう事務局にお願いしたい。
- ・ 事業にあたり文部科学省から県へ補助金があると思う。県から市への補助金がないのはおかしく、市として予算付けできないのはどうかと思う。
- ・ 無償ボランティアは難しく、周囲では無償ボランティアの組織は早くつぶれてしまう傾向にあり継続しない例が多い。
- ・ 問題行動など家庭に問題があるのも承知している、自分の過去のこともあり複雑な気持ちである。
- ・ 教員経験者として声が掛かるが、難しい面がありボランティア気分はあると思うが現実とのギャップに悩んでしまう。
- ・ 対象の子どもとの関わりには、教員としてもすぐエネルギーを必要としことばが詰まってしまう。仕事と家庭を犠牲にしている人も多くいると思う。
- ・ P T A 懇談会では、ボランティアが加わることは問題ないが、対象者の親が懇談会に出て来なく現実には難しい。
- ・ 対象者は、学習以外にも心の問題もあると思うので、心を癒すため草花の手入れをし、心を落ち着かせてから学習活動へ移行すべきである。優しい心を育ててからの学習だと思う。
- ・ 中学生の喫煙について承知しているが、注意してすぐに直るものではなく、すぐその子達の中へ入っていくのは難しい。
- ・ 問題行動などは、親の問題だと思うので対象者の親の考えを聞いてみたいと思う。
- ・ 家庭の問題が大きいと思うが、親にしてみれば学校が……、地域が……ということになると思う。
- ・ 学校と地域が協力してやるべきこと、経験者の意見を十分聞いて進めて欲しい。東塩田小学校では、金管バンドの全国大会出場資金作りに、子どもたちが空き缶拾いをやっている。行動することで、お金の大切さや重要さが理解されると思う。子どもを核に、社会教育が広がっていけばいいと思うので大いに支援したい。
- ・ 地域の発展のために意見を聞き入れていきたい。校舎の建替えに合わせて、樹木(約100本)の仮植が必要となり、そのための場所の提供に協力して欲しい。(無償)また、学習支援協力者の紹介も合わせてお願いしたい。

回答

- ・ 学校支援地域本部事業にあつては、上田市では塩田中学校だけが手を挙げた経過がある。
- ・ 本事業は、文部科学省の事業であり協力者は無償ボランティアと位置づけられている。

(3) その他（担当課：塩田地域自治センター）

塩野入神社周辺の環境を守る取り組み報告

説明要旨

- ・ 舞田峠の山林に、古物商がリサイクル施設の建設を計画している。
- ・ 地域住民は、リサイクル施設の建設に伴う周辺への環境破壊を懸念している。
- ・ 舞田地域では、舞田峠付近の自然環境の保護を目的にリサイクル施設の建設に反対する住民運動組織が立ち上がっている。

主な質疑

- ・ 環境問題は重視しなくてはならず、舞田地区に限らず自治会連合会として取り組んではどうか。ぜひお願いします。
- ・ 今まで知らなかった。
- ・ 手塚地籍でも焼却炉があり、地元と協定書を結ぶこととしている。
- ・ 民間事業者が、事業を拡大してきており困っている。条件闘争でなく、進出を許さない取り組みが必要である。
- ・ 自治会連合会として考えないといけないと思っている。
- ・ 運動は、お金に関わることなので難しい。業者は、2,000 万円で購入した土地を 3,000 万円で売ると言い困っている。
- ・ 開発面積が、3,000 m²未満は行政指導の対象とならない。住民パワーで行くのか、法律対策で行くのか十分な検討を要する。
- ・ 業者とはいい形で決着するようにしたい。

上田市わがまち魅力アップ応援事業「第1回ゆけむり映画祭」案内（チラシ配布）

協議会だより編集委員会の開催案内

- 4 その他
特になし
- 5 閉会